

平成 30 年度 第 1 回焼津市子ども・子育て会議 議事要旨録

日時：平成 31 年 1 月 28 日 14：00～15：50

場所：焼津公民館会議室 5・6

【出席者】 委 員：10 名

| 氏名 | 所属団体名・役職等 |
|--------|-----------------------|
| 山田 美津子 | 静岡福祉大学 学部長・教授 |
| 鈴木 敦子 | 元・小学校長、元・教育委員 |
| 村松 幹子 | 焼津市保育園協会 会長 |
| 相田 芳久 | 焼津市私立幼稚園協会 会長 |
| 橋ヶ谷 昌広 | 焼津市社会福祉協議会 大井川支所 支所長 |
| 白鳥 光美 | 子育て広場なかよし 相談員 |
| 田村 至 | 焼津市保育園保護者会連合会 会長 |
| 曾根 若葉 | 焼津市私立幼稚園 PTA 連絡協議会 会長 |
| 木野 俊次 | 志太地区労働者福祉協議会 副会長 |
| 三浦 徹 | 焼津公共職業安定所 所長 |

事務局：11 名

オブザーバー：(株)ぎょうせい 2 名

【欠席者】

| 氏名 | 所属団体名・役職等 |
|--------|---------------------|
| 八木 真美 | 焼津市公立幼稚園 PTA 代表 |
| 鈴木 英子 | 焼津市 PTA 連絡協議会 母親委員長 |
| 青嶋 朋隆 | ゆりかご西クラブ |
| 山中 敬弘 | 焼津商工会議所青年部 青年部副会長 |
| 内田 いつ乃 | 焼津市立港小学校 校長 |

【内 容】

- 1 開会
- 2 委嘱状伝達
- 3 こども未来部長挨拶
- 4 委員紹介
- 5 事務局紹介
- 6 会長・副会長選出

7 子ども・子育て支援事業計画の概要と子ども・子育て会議委員の役割について

8 議事

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

- 事務局からの資料説明
- 質疑応答

【委員】時間外保育事業の利用者数は、18：00までの利用者数、18：30までの利用者数のいずれなのかを確認したい。

【事務局】18：30までの利用者数である。

【委員】病児保育と病後児保育を分けた利用者数を確認したい。

【事務局】病児保育は、昨年10月から大井川保育園でスタートしており、病後児保育は大井川保育園を含め3園で実施している。30年度の実績としては病児保育が4人、残りが病後児保育である。現段階では、病児保育で感染症の受け入れが設備の関係でできない。

【委員】病児・病後児保育の利用者は、リピーターが多いのか、そうではないのか。

【事務局】病児・病後児保育の利用者は、実施園の3園の在園児の割合が高い。3園以外の園の方は利用しにくいのではないかと思われる。

【委員】感染症にかかったお子さんの預け場所がない。保育所に預けることができず、職場の駐車場の車の中で子どもが日中過ごしたという事例を聞いた。今後、焼津市も感染症のお子さんの預け場所に関して検討する必要がある。また、幼稚園の預かり保育について、無償化の対象となることから、利用者が今後増えることが予想され、増えた場合の対応が難しい。市の対応の方針について確認したい。

【事務局】その事例は、市としても情報を既に把握している。病児保育における感染症の受け入れについては、施設の整備が必要となるため、検討が必要である。預かり保育の無償化については、国がその対象について検討中であり、無償化の対象としては、保育の必要性の認定を受けた場合のみで、それ以外を対象外となるような情報も出ている。今後も、国の情報が明らかになり次第、委員に情報を提供する。

【委員】放課後児童クラブの30年度の状況を確認したい。

【事務局】30年度の受け入れは1,033人、待機児童が11人となっている。31年度には、待機への対応として、小川地区の借家を利用し対応する。31年度の申し込みは昨年度上回るニーズとなっている。児童クラブの数は、29年度26支援単位、30年度には28支援単位となっている。

【委員】放課後児童クラブは、全市的には待機児童がいるが、学区によって状況が違う。また、年度途中の退所・入所について、各クラブで対応が異なる状況もある。市の方針を確認したい。

- 【事務局】市では、放課後児童クラブの利用の基準に当てはまらなくなれば退所という対処の仕方を各運営法人にお願いしている。待機児童への対策としては、29年度に夏休み限定のクラブを1カ所、30年度には2カ所実施しており、夏休み限定クラブの利用状況も加味して今後の計画を立てる予定である。
- 【議長】放課後児童クラブについて、6年生まで受け入れ可能となっているが、クラブによっては4年生以降の受け入れを断っているところもあるのか。
- 【事務局】市では、4年生以降の受け入れもお願いしており、断るようなことはないものと認識している。
- 【委員】お子さん本人の意思とは別に、親が子どもの放課後が心配でクラブに預けている状況もあるので、私どものクラブでは、親に状況を伝えながら、保育計画に基づいて対応している。子どもの状況を踏まえた保育計画に基づき対応していくとなると、支援員の専門性も大事になってくる。

(2) 第2期焼津市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について

- 事務局からの資料説明
- 質疑応答

- 【委員】前回調査の回収率を確認したい。
- 【事務局】就学前54.2%、小学生53.1%である。
- 【委員】先ほどの(1)の進捗状況の報告の中で、病児保育のように計画値に対して実績値が過小の事業があるが、前回調査と比べて今回のものは調査内容に変化はあるか。
- 【事務局】病児保育のニーズ把握にあたっては、前回は、お子さんが病気の際に父親や母親が休んで対応した場合に、病児保育を利用したかどうかというような聞き方をしていたが、今回はお子さんが病気の際の主な対処方法として想定されるものを3つあげてもらったことに変更するなど、ニーズをより限定し正確に把握することを目指したものとしている。
- 【委員】今回の調査項目は、他市と同様なのか。
- 【事務局】現計画策定の際の国のモデル調査票に基づく項目については、他市も同様である。なお、焼津市の調査票案には、国のモデル調査票の項目とは別に、市の子育て環境や市の施策に対する市民の意識や意向を把握するための独自項目を設けている。
- 【委員】放課後児童クラブの支援員に対する要望等を確認するような設問は設けられないか。
- 【事務局】そこまで細かい要望を把握することは想定していない。
- 【委員】日曜日・祝日、夏休みの幼稚園、保育所などの定期利用の意向を把握する設問が設けられているが、ニーズを把握しても、市として対応が難しいのではない

か。

【事務局】その設問は国のモデル調査票の設問項目である。休日保育は、市の窓口対応の中で要望等はなく、必要性は感じていない。ただし、調査でニーズが大きければ対応を検討する必要がある。

【委員】企業において、子育て中の方のニーズを把握するような取組はあるのか。

【委員】当事業所では実施したことはないと思う。

【委員】市で事業所の調査を実施する予定はあるのか。焼津市独自の調査として実施してもよいのではないか。

【事務局】事業所調査の実施は想定していない。市の商工担当に事業所における取組等について確認する。子育て支援は第6次総合計画で市の最重要施策として位置づけており、事業所における両立支援の環境の充実も併せて検討していく必要がある。

【議長】今後は本調査票案の内容について、私と事務局に一任していただくかたちでよろしいか。

【一同】異議なし。

以上